

小名濱町の

老夫婦殺し公判

傍聴席も超満員

鬼畜の頭をそがげるような小名濱町岩田農人和田富五郎さん（七九）妻ノン（七五）大娘を亡くす八月三十一日未明布魯添にして殺害した犯人老夫婦の外孫にあたる櫻井十四夫（一六）と名古屋市原生住所不特定島和夫（二三）係る第一回公判は雨氣をましむ陰雲な四日半地裁部法廷で志村裁判長、安藤猪狩判事陪席（國分検事係りで開廷した。罪名は強盗殺人、傍聴席は足刻前から詰滿實かつて賛婚殺し公判の際の傍聴者ら若く女學生が大半を占めたが今日は殆ど全部四十台の男女を埋められ如何にこの事件が世間を巻きあがらせたかを示して、また傍聴席中第一列にはるべく双葉都久之瀬町からやつて來た前小学校男女教官連九名がアリと席を占めた。聞けば今日の日をねらつて生きた社會科教材の湯沢さんとの時刻裁判所に申込んでいた由その他の傍聴者には被告の近親者が、ハンカチーフで手は頭をうむけながら片瀬に身をのばせているの見える

悄然たる十四夫少年

傍聴人も子供姿に目を背張る

やがて傍聴席もさうして待

十時半としづれを切らして待

十八時刻もさうして待

十九時刻もさうして待

二十時刻もさうして待

二十時半としづれを切らして待

第三回
市議会印行
昭和廿一年十一月一日定

行民報社

精工舍の
時計

常盤屋時計店

平一（昭三十五年十一月一日定）

お爺さんの頭を「座ブソ」
泥棒に入ろう」と説いかげ更に始めは「若し見つかつたら

泥棒に入ろう」との話合いが繰りしぶらう」との話合いが

泥棒に入ろう」と説いかげ更に「最初から泥棒に入らぬいと云ふが正しく、そのわざに驚いて

泥棒に入らぬいと云ふが正しく、そのわざに驚いて

葵平先史遺跡調査概報

東大理學部
日本人類學會員

根本忠孝

遺蹟

遺物

小史

研究發掘調査

昭和22年10月30日

十一の兩日に亘り慶應大學助

江坂兩氏が

調査を

石器と大蟲の土器を

器類を

新開墾の際、土工が發掘せし

が最初に発見したものである。

全地は殆んど全部石器時代

墓模様、以下は縄文を示した

山森正一、鎌倉高等學校教官

猪俣金五郎、鎌倉高等女學校

昭和22年6月6日

民衆には余程適した地形であるから面白い。

つたことが知られる。南向き

で後方が山で前は川である。面向き

これは未開人の居住所に適

した場所があるらか。

それが

その他の遺跡からは磨製

石斧五本、石ヤヂリ數個、

石皮剝一個、土偶一個、有孔

石器剝一個、土偶一個、有孔

石皮剝一個、土偶一個、有孔

石皮剝一個、土偶一個、